

山田みやこの活動報告

平成30年6月27日(水)

農林環境委員会 県内視察

農業・農村の多面的機能の維持に向けた取組について「アグリネット西下ヶ橋」の活動と「NPO法人グラウンドワーク西鬼怒」の活動調査を宇都宮市の地元議員として参加した。

市街地近郊の恵まれた豊かな自然を保全していくために擬木を組み合わせ、詰め石を施して水生生物のすみかを確保したり、生態系保全水路を整備し、ドジョウやフナ類を保全している。

農業者39名と地域の育成会・地域住民・宇都宮大学・白楊高校・白沢小学校などが中心となり、多面的機能支払交付金により活動。

- ・田んぼの学校—小学生の親子により田植えから収穫まで
- ・土の水路の草刈り—圃場整備後の土の水路700mの草刈り
- ・谷川のゴミ拾い
- ・そばの学校—種まきから収穫、そば打ち
- ・フクロウ営巣—手づくり巣箱で生育を助ける活動

地域全体で”創る・学ぶ・遊ぶ”

豊かな”食と農”

豊かな”自然と環境”をめざしている。

高めよう 地域協働の力!

**多面的機能支払交付金に
取り組んでみませんか!**

本交付金の取組は、以下のような農業農村のいろいろな働き(多面的機能)を守っています。

上流の流出を防ぐ機能
地下水をつくる機能
洪水を防ぐ機能
文化を伝える機能
農村の景観を保全する機能
体験学習と教育の機能
生き物のすみかになる機能

栃木県農政部
栃木県農地水多面的機能保全推進協議会



私たちの活動紹介

- ◆田んぼの学校◆
対象は小学生の親子。1年の活動(12回)を通じて地域の自然と環境、伝統文化そして食と農を学びます。
入学式、田植え、野菜の種えつけ(トマト、ナス、キュウリ、落花生、サツマイモ)、ホタル観察会(サトイモ)、ドジョウ水路の草刈り、生きもの調査(ジャガイモ掘り)、小川で遊ぶ(水取とり)、灯籠流し、稲刈り(ゆで落花生、手づくりおにぎり)、いも掘り(ふかし芋)、餅つき、探検会(フクロウの巣箱づくり)、しお餅りづくり、どんど焼き儀式。
- ◆ドジョウ水路の草刈り◆
土水取の草刈り、ドロ上げなどの作業によって水路の過水をよくし、生きものたちの生育・生態系を維持管理しています。毎年6月末の半日、ボランティアの協力で実施。地元の方々はじめ、王子マテリア等の企業、行政、児童・生徒・学生(白沢小、白楊小、東洋学園白楊高校、宇都宮大学)、宇都宮市の市民など約150人が参加しています。
作業の余間にカエルやドジョウ、モイシやゲンゴロウなどの観察をし、西下ヶ橋集落のお母さんたちの手づくりの昼食をいただいた後、自然解散。
- ◆谷川のクリーン作業◆
谷川・九郎半用川のゴミ拾い、水車の除去により水の流れをよくし、併せて良好な水路環境を維持します。毎年3月の半日、ボランティアの協力で実施。参加費および内容は「ドジョウ水路の草刈り」とほぼ同じです。
- ◆農家の集校◆
ソバの種まきから収穫、くるりん粉による製粉、蕎麦を焼くまでの選別、水車のお臼での製粉を体験します。最後は参加者全員でのソバ打ちと試食。
- ◆花を咲かせよう◆
白沢公園花愛好会、奥州街道白濁の会、河内地区まちづくり協議会、しらかば等の若々や田んぼの学校の親子が、白沢公園の花を咲かせています。
- ◆フクロウ営巣ネットワーク◆
手づくりの巣箱を里山にかけて、フクロウの繁殖・生育を助ける活動です。2005年に「フクロウ営巣ネットワークプロジェクト」を立ち上げ、これまでに建てた巣箱は198箇所、404羽が巣立っています。2009年にフクロウ営巣ネットワーク・ランが3人(第1回)を開催し、2012年に第2回目を、同年10月に第3回目において第3回目を、2016年1月に第4回目を開催しました。